

# 事業カルテ ( 元年度決算 )

文化・市民協働課【文化・生涯学習推進課】

02-01-12-116 都市交流推進事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	2	多様な交流による地域づくり			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成8年度より、富士見町のオッコー祭りに踊り連「友好都市多摩市」として参加している。平成17年度より「入笠 “花の里” 植栽ボランティア活動」に参加、当事業終了後も、入笠山での「すずらん植栽事業」を実施してきた。平成29年度に記念事業の一環として「ハロウィンin多摩センター及びサンリオピューロランドへの富士見町民招待事業」を実施し、以降継続して実施している。					

## ◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	<p>【事業の目的】昭和61年に友好都市提携を結んだ富士見町と連携し、両市町による市民の相互交流と魅力発信によるいきいきとしたコミュニティづくりを目指す。</p> <p>【令和元年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの市町で行うお祭りやイベントに参加することで、市民レベルでの交流を促進する。</li> <li>・今後の発展的な友好都市交流の方策について、富士見町との協議・検討を行う。</li> </ul>
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オッコー祭りに参加する旅」事業費(業務委託料、クリーニング費、事務用品等の消耗品等)</li> <li>・「ハロウィンin多摩センター及びサンリオピューロランドへの富士見町民招待」事業費(サンリオピューロランド入場料、パルテノン多摩和室利用料等)</li> <li>・すずらん植栽事業費(職員人件費)</li> </ul>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた、「友好都市富士見町交流体験事業」・「オッコー祭りに参加する旅」・「ハロウィンin多摩センター及びサンリオピューロランド富士見町民招待事業」の3事業を実施し、事業実施を通して、友好都市富士見町の認知度向上と市民レベルでの交流を促すことが出来た。</li> </ul>

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	421 千円	661 千円	399 千円	103 千円	469 千円	
事業にかかる実コスト	2,294 千円	4,362 千円	3,924 千円	2,623 千円	3,044 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	156 千円	136 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	265 千円	525 千円	399 千円	103 千円	469 千円
	間接経費					
職員人件費	1,873 千円	3,701 千円	3,525 千円	2,520 千円	2,575 千円	
《従事人員数》	0.20 人	0.40 人	0.40 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	事業実施回数	目標	2回	3回	3回
		結果	1回	3回	—
成果指標 (アウトカム)	事業への市民参加数	目標	70人	96人	96人
		結果	39人	91人	—

## 特記事項

平成30年度の都市交流事業「オッコー祭りに参加する旅」は、台風の影響により中止とした。

## ◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	B	イ	継続的かつ自発的な市民交流を広げていくため、また、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う、新たな生活様式に配慮した上で、富士見町と協議を行いながら、今後の事業の企画や自治体間の連携等について検討していく必要がある。

## <都市交流推進事業>

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 友好都市富士見町交流事業における市民参加

##### ●植栽事業

年度	実施日	参加者数 (人)
27	平成27年6月3日(水)	39
28	-	-
29	平成29年6月23日(金)	38
30	-	-
元	令和元年6月15日(土)	34

平成28年度・30年度は、植栽事業の実施なし。

##### ●「ハロウィンin多摩センター及びサンリオ・ピューロランド富士見町民招待事業」

年度	実施日	実施場所	参加者数 (人)
29	平成29年10月28日(土)	多摩センター	37
30	平成30年10月27日(土)	多摩センター	39
元	令和元年10月26日(土)	多摩センター	30

##### ●富士見町オッコー祭りに参加する旅

年度	実施日	参加者数 (人)
27	平成27年7月25日(土)・7月26日(日)	11
28	平成28年7月30日(土)・7月31日(日)	31
29	平成29年7月29日(土)・7月30日(日)	17
30	-	-
元	令和元年7月27日(土)・7月28日(日)	27

平成30年度は荒天のため、事業中止

##### ●事業費

(単位:円)

年度 内 訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
職員特別旅費	29,500	39,200	29,100	0	24,600
消耗品	11,592	89,002	8,790	9,711	8,270
洗濯手数料	13,150	6,650	13,900	0	12,000
バス借上料	366,511	525,564	-	-	-
施設等借上料	-	-	-	-	-
業務委託料	-	-	316,340	39,042	381,640
会場使用料	-	-	-	11,400	11,400
入場料	-	-	31,000	39,000	28,000
駐車場使用料	-	-	-	3,200	3,200
計	420,753	660,416	399,130	102,353	469,110

02-01-12-118	国際化推進事業
02-01-12-119	多摩市国際交流センター補助事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
	施策	2	多様な交流による地域づくり
	関連する施策	E1-1	— — — —
関連する個別計画	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針、多摩市地域防災計画		
関連する報告書など	多摩市国際交流推進委員会報告書		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成3年度に多摩市国際交流推進委員会報告で協会の必要性が提言され、平成5年度に多摩市国際交流センターが設立。平成17年度には、所管課長の事務局長兼務を見直し専任の事務局長を置くことにした。また、在住外国人生活支援事業(日本語教室・多摩市の生活情報【HAND in HAND in たま】・生活相談)を協働指定委託事業とし、多摩市国際交流センターへ委託した。平成29年度に在住外国人向けの生活支援策等の情報提供を図るため、多摩市公式ホームページの多言語化通知及び多摩市国際交流センターの案内等を市内在住外国人へ送付し、以降継続して実施している。		

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	【事業の目的】地域の国際化および多文化共生社会の実現を目指し、多様な交流と共生によるまちづくりを推進する。 【令和元年度目標】・日本語教室、多言語による情報提供、生活相談、外国人児童生徒に対する日本語指導、災害時における外国人の対応の整理等、在住外国人への生活支援を推進する。 ・多摩市の多文化共生指針の策定に向けて、他区市町村の指針・計画等について調査、研究する。	
予算の執行方法	・外国人生活支援業務委託の委託料 ・国際化推進のため、多摩市国際交流センターへの補助金 ・文書翻訳等、市から依頼を受けて活動した市登録の国際交流員への謝礼 ・市内在住外国人に対する多摩市公式ホームページ多言語化通知等郵送に関する費用	
事業の成果	・市内在住外国人に対し、情報提供を目的とした多言語による各種案内の郵送をした。また日本語教室の開催等、継続的な支援を行うことで、外国人の生活環境の整備を図った。 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報を、多摩市公式ホームページや生活情報紙にやさしい日本語や多言語で掲載し、外国人へ情報発信した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	5,994 千円	6,022 千円	6,041 千円	5,970 千円	6,016 千円
事業にかかる実コスト	7,867 千円	9,723 千円	9,566 千円	8,910 千円	9,449 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	116 千円	899 千円	895 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	3,248 千円	3,109 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	2,746 千円	2,797 千円	5,142 千円	5,075 千円
間接経費					
職員人件費	1,873 千円	3,701 千円	3,525 千円	2,940 千円	
〔従事人員数〕	0.20 人	0.40 人	0.40 人	0.35 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	国際交流員の派遣延べ人数+外国人支援業務の延べスタッフ数	目標	2,000人	2,000人	2,000人
		結果	1,916人	2,186人	—
成果指標 (アウトカム)	国際化推進事業(外国人生活支援業務等及び国際交流センター主催事業)への市民参加者数	目標	5,000人	5,000人	5,000人
		結果	5,289人	5,101人	—

特記事項	東京2020応援プログラム「外国人日本語スピーチ大会」の実施、ホストタウンであるアイスランドのPR事業の実施及び紹介パンフレットの作成、東京都・多摩市合同総合防災訓練での「やさしい日本語」の市民周知
------	---

◇自己点検

の 成 果 指 標 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	A	A	I	・外国人に対する新型コロナウイルス感染症対策を含め、災害時の外国人対応における体制を整える。 ・多摩市国際交流センターとの情報・課題共有、更なる連携と協力を深め、多文化共生社会の実現を目指していく。

## <国際化推進事業>

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 国際交流員

市内在住の外国人に「国際交流員」として登録してもらい、主に市から配布される文書の翻訳を行う。

派遣実績

年度	派遣件数(件)	派遣のべ人数(人)	決算額(円)
平成27年度	2	4	48,000
平成28年度	7	14	97,000
平成29年度	9	14	77,000
平成30年度	10	12	40,000
令和元年度	3	9	29,000

#### 2 外国人支援業務委託

市内在住・在勤・在学の外国人向けに「初級日本語教室」や「生活相談室」の開室、「生活情報紙」の発行をした。

(円)

平成27年度	2,128,000
平成28年度	2,113,000
平成29年度	2,128,000
平成30年度	2,118,000
令和元年度	2,143,107

##### (1)初級日本語教室 (人)

	のべ受講者数	概要
平成27年度	2,375	生活上必要最低限の日本語を学ぶ教室を、月曜2クラス(多摩センター・永山)・木曜2クラス(桜ヶ丘[午前・午後])・土曜1クラス(桜ヶ丘)の計5クラスを開室した。
平成28年度	2,632	
平成29年度	2,459	
平成30年度	2,572	
令和元年度	2,602	

##### (2)生活相談室 (人)

	のべ利用者数	概要
平成27年度	5	外国人を対象に生活相談室を開室した。必要な場合は、通訳等により外国語で対応する。状況に応じて専門機関などを紹介する。
平成28年度	2	
平成29年度	5	
平成30年度	3	
令和元年度	3	

##### (3)月刊生活情報紙

	年間発行部数	概要
平成27年度	1,000部×12ヶ月	主にたま広報から選んだ記事を、英語・中国語・ハンブルに翻訳し、発行。市内公共施設等で配布。平成25年度から各大学にも配付している。
平成28年度		
平成29年度		
平成30年度		
令和元年度		

## <多摩市国際交流センター補助事業>

### ◇執行状況及び成果等

多摩市国際交流センターは、国際交流に関する情報提供、各種団体間の相互連携の促進、国際交流に関する調査・研究、国際交流の場の提供、在住外国人への支援等の事業を実施し、多文化共生社会の推進に寄与した。

多摩市国際交流センター補助金 (単位:円)

年度	補助額	内訳	
		事業費補助	人件費補助
27	3,780,000	386,000	3,394,000
28	3,780,000	386,000	3,394,000
29	3,780,000	386,000	3,394,000
30	3,780,000	300,000	3,480,000
元	3,780,000	300,000	3,480,000

#### 1. 人件費

支払い賃金補助金充当額

(常勤スタッフ1名・ボランティアスタッフ8名分) 3,480,000 円

#### 2. 事業費

(単位:円)

事業名	内容	補助金充当額
国際交流に関する情報提供のための事業	「ふれんどりーたまNews(月刊号・季刊号)」の発行、発送	190,000
国際交流の場を提供するための事業	日本の伝統文化を学ぶ(日本の伝統文化の紹介)、国際理解講座、里山を歩く、盆踊りの参加	40,000
センター運営のために必要な事業	総会、ガイダンス、市民文化祭、東京2020応援プログラム「外国人日本語スピーチ大会 in TAMA」	70,000
計		300,000

# 事業カルテ ( 元年度決算 )

コミュニティ・生活課

02-01-13-121

多摩市自治連合会補助事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C1	地域で支え合い、暮らせるまちづくり			
	施策	1	多様な担い手による地域づくりの推進			
	関連する施策	—	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	地域コミュニティの円滑な推進と住民自治の発展に寄与することを目的に、平成3年度から活動費の一部として補助金を交付している。地域の共通課題等の解決の手がかりとなるよう、学習会・部会等を開催している。また、各地域の自治会、管理組合相互の連携を図るための事業を実施し、さらに活動の輪を広げていくために、自治連未加入の団体に対し、広報紙等により加入促進を図っている。平成27年度には、多摩市自治連合会創立50周年を迎え、シンポジウムや祝賀会を開催し、記念誌を発行した。					

## ◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	地域コミュニティの推進と住民自治の発展を目的とした多摩市自治連合会事業の円滑な実施。
予算の執行方法	多摩市自治連合会に対し補助金を交付する。
事業の成果	多摩市自治連合会事業を通じて各地域の自治会、管理組合相互の連携を図った。令和元年度の事業では、「自治会・管理組合の地域活動に関する情報交換について ～自治活動(地域活動)、加入促進など様々な課題についての意見交換～」を行った。意見交換に出された地域課題や、各自自治会・管理組合の活動状況及び対策について、共有することが出来た。今後は引き続き勉強会等を実施していく予定である。また、多摩市自治連合会への自治会、管理組合の加入促進を図った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	2,992 千円	2,992 千円	3,036 千円	3,036 千円	3,036 千円	
事業にかかる実コスト	8,993 千円	8,950 千円	8,746 千円	8,491 千円	8,632 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	2,992 千円	2,992 千円	3,036 千円	3,036 千円	3,036 千円
	間接経費					
職員人件費	5,619 千円	5,552 千円	5,288 千円	5,040 千円	5,149 千円	
《従事人員数》	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人	
その他の人件費	382 千円	406 千円	422 千円	415 千円	447 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	多摩市自治連合会加入自治会・管理組合数	目標	115団体	115団体	115団体
		結果	113団体	113団体	—
成果指標 (アウトカム)	自治連合会事業延べ参加自治会・管理組合数	目標	260団体	260団体	260団体
		結果	244団体	224団体	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的 的	財 源 的		
B	A	A	イ	自治会等の活性化に向けて、多摩市自治連合会の事業で勉強会等を行っていく。

## <多摩市自治連合会補助事業>

### ◇執行状況及び成果等

多摩市自治連合会の活動を援助・助成するため、事業費の一部を補助した。

#### 1 多摩市自治連合会事業費（決算額）と市補助金の推移

(単位：円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事業費合計	4,226,643	3,593,116	3,617,337	3,875,658	3,539,047
自主事業費	556,046	452,390	446,459	594,852	423,642
補助金充当事業費	3,670,597	3,140,726	3,170,878	3,280,806	3,115,405
市補助金	2,992,000	2,992,000	3,036,000	3,036,000	3,036,000

※自主事業 総会・懇親会、新年情報交換会、役員会経費など  
 補助金充当事業 体育祭、広報発行、学習会、視察研修、助成事業経費など

#### 2 多摩市自治連合会加盟団体数の推移

(単位：団体)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
合計	113	114	113	113	113
自治会・町会	60	61	60	60	60
管理組合	53	53	53	53	53

※自治会・町会の内1団体は5自治会で構成する地域の連合会

# 事業カルテ ( 元年度決算 )

コミュニティ・生活課

02-01-13-122

集会所管理経費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C1	地域で支え合い、暮らせるまちづくり			
	施策	1	多様な担い手による地域づくりの推進			
	関連する施策	C2-2	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和49年に既存地区を対象とした「多摩市集会所の建設に関する基準」を制定し、ニュータウン地区との格差を是正するため、既存地区の集会所の整備を図ってきた。当初より、地域の自治会や町会と市の間で役割を定め、分担、協力しながら管理を行っている。					

## ◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	老朽化した集会所について、維持管理のために必要な修繕等を行い、地域住民が安全に使用できるようにする。 また、昭和56年6月以前の旧耐震基準で建設された集会所のうち、耐震補強工事の必要な集会所について、施設の安全性を確保するために、補強工事を行う。
予算の執行方法	集会所の機能を確保するため、修繕、諸工事及び植栽等の管理業務委託を行う。
事業の成果	集会所を自治会や町会活動の拠点として活用し、地域コミュニティの醸成を図った。 「健幸都市」を推進するため、TAMAフレイル予防プロジェクトなどの事業の場として、更に集会所を活用していくよう関係所管と調整を行った。 また、平成30年度に実施した耐震診断の結果を受けて、集会所6ヶ所の耐震補強工事を行った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	12,953 千円	9,263 千円	7,712 千円	15,721 千円	23,643 千円	
事業にかかる実コスト	16,910 千円	13,257 千円	11,621 千円	19,486 千円	27,559 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	260 千円	10,000 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	73 千円
	一般財源	12,953 千円	9,263 千円	7,712 千円	15,461 千円	13,570 千円
	間接経費					
職員人件費	2,810 千円	2,776 千円	2,644 千円	2,520 千円	2,575 千円	
《従事人員数》	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	1,147 千円	1,218 千円	1,265 千円	1,245 千円	1,341 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	集会所設置戸数	目標	42ヶ所	42ヶ所	42か所
		結果	42ヶ所	42ヶ所	—
成果指標 (アウトカム)	集会所延べ利用者数	目標	70,000人	71,200人	71,200人
		結果	70,130人	67,378人	—

## 特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月は集会所の使用について自粛をお願いしていた。

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し	方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	量的 的		財一 源般	「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の今後の方向性に基づき、地域での活動の場としての活用を検討していく。
B	B	A	イ	



## <集会所管理経費>

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 市で管理している集会所一覧

令和2年3月31日現在

No.	集会所名	所在地	延床面積 (㎡)	建築年月
1	桜ヶ丘集会所	桜ヶ丘1-1	159.82	S. 50. 06
2	関戸第一倶楽部	関戸5-35-3	71.75	S. 51. 02
3	一ノ宮集会所	一ノ宮1-18-8	157.14	S. 51. 03
4	連光寺本村集会所	連光寺2-27-16	150.42	S. 52. 03
5	東部集会所	連光寺6-21-4	71.94	S. 52. 03
6	桜ヶ丘一ノ宮集会所	一ノ宮4-37-5	72.04	S. 53. 03
7	東寺方自治会会館	東寺方626-2	151.54	S. 54. 03
8	和田稲荷塚集会所	百草1139-2	142.00	S. 54. 03
9	関戸河原クラブ	関戸2-3-8	144.15	S. 54. 09
10	諏訪会館	諏訪5-2-1	193.62	S. 55. 02
11	大貝戸集会所	乞田1101	69.97	S. 55. 03
12	下落合集会所	愛宕4-14	74.60	S. 55. 07
13	山王下集会所	山王下1-9	65.09	S. 55. 07
14	中和田天神倶楽部	和田1023	104.58	S. 56. 03
15	小野路集会所	南野2-14-1	80.74	H. 09. 03
16	貝取クラブ	貝取1-56-9	60.45	S. 57. 03
17	並木稲荷自治会館	和田72-1	105.99	S. 58. 03
18	瓜生集会所	永山6-6-30	101.85	S. 59. 03
19	馬引沢自治会館	馬引沢2-3-16	108.32	S. 59. 12
20	青木葉集会所	落合2-24-1	71.21	S. 59. 12
21	京王一ノ宮集会所	連光寺4-1-2	50.55	S. 60. 03
22	永山橋集会所	諏訪1-3	62.68	S. 60. 03
23	上乞田集会所	豊ヶ丘1-17-1	101.44	S. 61. 03
24	聖ヶ丘三丁目集会所	聖ヶ丘3-43-5	100.50	S. 61. 03
25	鶴牧五丁目集会所	鶴牧5-18-8	107.88	S. 61. 03
26	聖ヶ丘四丁目集会所	聖ヶ丘4-12-6	74.17	S. 62. 03
27	木の実公園集会所	連光寺3-3-21	73.21	S. 62. 03
28	聖ヶ丘二丁目集会所	聖ヶ丘2-47-15	101.29	S. 63. 03
29	聖ヶ丘南集会所	聖ヶ丘3-59-10	73.47	S. 63. 03
30	南野集会所	南野3-9-22	98.31	S. 63. 03
31	唐木田自治会館	唐木田1-13-2	99.90	S. 63. 12
32	中組集会所	中沢2-20-12	104.34	S. 63. 12
33	瓜生自治会館	永山2-19-17	101.85	H. 01. 03
34	鶴牧有朋倶楽部	鶴牧5-25-8	133.75	H. 01. 04
35	宝蔵橋むつみの家	和田1686	78.66	H. 02. 03
36	聖ヶ丘一丁目集会所	聖ヶ丘1-7-13	72.87	H. 02. 03
37	永山六丁目集会所	永山6-27	93.96	H. 03. 03
38	関戸南田倶楽部	聖ヶ丘1-27	86.69	H. 04. 12
39	連光寺向ノ岡集会所	連光寺1-31-64	71.22	H. 06. 03
40	関戸三丁目倶楽部	関戸3-10-11	151.74	H. 06. 03
41	唐木田李久保自治会館	唐木田1-43-6	100.08	H. 07. 03
42	永山橋第2集会所	永山1-10-10	64.17	H. 14. 05

2 集会所にかかる主な経費

(単位:円)

年度 項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
修繕料		-	4	609,768	7	594,756	5	498,160	7	551,693
植栽地等管理 業務委託料	2	1,789,992	2	1,355,673	2	1,383,008	1	208,170	3	1,705,309
用地借上料	4	3,124,171	4	3,140,470	4	2,950,039	4	3,405,157	4	3,171,820
改修工事等		-		-		-	1	390,960	6	13,444,960
維持補修工事	10	7,072,725	4	3,272,400	3	1,902,502	6	9,004,743	4	3,508,487
借上料補助金	1	579,336	1	579,336	1	579,336	1	579,336	1	579,336
その他		387,044		305,522		302,020		1,634,929		680,843
合計額		12,953,268		9,263,169		7,711,661		15,721,455		23,642,448

# 事業カルテ ( 元年度決算 ) 合体カルテ (サブカルテ有り)

コミュニティ・生活課

02-01-13-124	複合施設等管理経費
02-01-13-125	老人福祉館・地区市民ホール運営費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C1	地域で支え合い、暮らせるまちづくり			
	施策	1	多様な担い手による地域づくりの推進			
	関連する施策	C2-2	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和53年連光寺福祉館開設。昭和54年豊ヶ丘福祉館・地区市民ホール、諏訪福祉館・地区市民ホール開設。昭和56年東寺方福祉館・地区市民ホール、多摩センター地区市民ホール開設。平成4年多摩センター地区市民ホールは京王相模原線高架下へ移転。平成16年多摩センター地区市民ホールは、同様の施設が充実してきたことにより、行財政再構築プランに基づき廃止した。					

## ◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	老人福祉館・地区市民ホールの維持管理及び運営を行い、高齢者福祉の増進及びコミュニティの促進を図る。
予算の執行方法	維持管理のための光熱水費の支払い、各種業務及び保守委託契約、施設の修繕等について、老人福祉館と地区市民ホールの運営費を一体で執行する。また、季節に応じた高齢者のための各種事業を実施する。
事業の成果	老人福祉館については、日常的な施設利用と事業を通じて地域高齢者が交流を深めることにより、高齢者福祉の増進を図った。地区市民ホールについては、地域の市民に活動の場を提供することにより、コミュニティ活動の促進を図った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	55,627 千円	61,266 千円	58,659 千円	60,323 千円	60,850 千円
事業にかかる実コスト	117,460 千円	122,829 千円	119,241 千円	119,249 千円	125,791 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	606 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	2,744 千円	2,888 千円	2,388 千円	1,604 千円
	一般財源	52,883 千円	58,378 千円	56,271 千円	58,113 千円
	間接経費				
職員人件費	40,272 千円	38,864 千円	37,015 千円	35,283 千円	
《従事人員数》	4.30 人	4.20 人	4.20 人	4.20 人	
その他の人件費	21,561 千円	22,699 千円	23,567 千円	23,643 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	サブカルテに記載	目標	—	—	—
		結果	—	—	—
成果指標 (アウトカム)	サブカルテに記載	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項	—
------	---

## ◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
B	B	B	イ	連光寺複合施設については、地域住民との対話を行いながら大規模改修を行い、令和4年にコミュニティ会館として整備する。

サブカルテ ( 元年度決算 ) 老人福祉館・地区市民ホール運営費 コミュニティ・生活課

02-01-13-125 老人福祉館運営費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C1	地域で支え合い、暮らせるまちづくり			
	施策	1	多様な担い手による地域づくりの推進			
	関連する施策	C2-2	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	連光寺福祉館では、風呂の利用者が少ないため、平成16年度からひとつの風呂を時間を変えて男女が利用することとした。また、平成17年度から各福祉館では、祝日等で風呂が休みになる週を除き、毎週水曜日の風呂を休みにするなど、一層効率的な運営を図ってきた。平成24年9月にコミュニティセンターの風呂を廃止したことにより、各福祉館の利用者が増加し、諏訪及び豊ヶ丘福祉館で風呂の入浴時間を延長した。					

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	高齢者の心身の健康保持や地域コミュニティ促進のため、老人福祉館の管理運営を行う。老人福祉館の安全な維持管理及び文化祭や季節に応じた各種事業等を行い、より多くの高齢者の参加を促す。	
予算の執行方法	老人福祉館にかかる運営費を地区市民ホール経費と一体で執行する。また季節に応じた高齢者のための各種事業等を行う。	
事業の成果	施設利用と事業を通じ、地域の高齢者が交流を深めることにより、高齢者福祉の増進及びコミュニティの醸成を図った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	16,567 千円	18,681 千円	18,037 千円	18,184 千円	18,061 千円
事業にかかる実コスト	59,298 千円	63,694 千円	62,230 千円	61,118 千円	67,789 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	606 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	84 千円	68 千円	65 千円	68 千円
	一般財源	16,483 千円	18,613 千円	17,972 千円	17,510 千円
	間接経費				
職員人件費	28,097 千円	29,611 千円	28,202 千円	26,882 千円	
《従事人員数》	3.00 人	3.20 人	3.20 人	3.20 人	
その他の人件費	14,634 千円	15,402 千円	15,991 千円	16,052 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	福祉館主催事業、行事、催事等の回数	目標	73回	73回	73回
		結果	88回	81回	—
成果指標 (アウトカム)	老人福祉館年間利用者数	目標	43,000人	43,000人	43,000人
		結果	35,265人	31,213人	—

特記事項 事業コストは児童館、学童クラブ、図書館にかかる部分を面積按分し算出している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月は貸室の利用を休止した。

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	—	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的			
B	B	B	イ		

サブカルテ ( 元年度決算 ) 老人福祉館・地区市民ホール運営費 コミュニティ・生活課

02-01-13-125	地区市民ホール運営費
--------------	------------

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	<b>C1</b>	地域で支え合い、暮らせるまちづくり
	施策	<b>1</b>	多様な担い手による地域づくりの推進
	関連する施策	<b>C2-2</b>	—
関連する個別計画	—		
関連する報告書など	—		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成4年に多摩センター地区市民ホールは、京王相模原線高架下へ移転した。平成16年3月末に同施設は、同様の施設が充実してきていることから、行財政再構築プランに基づき廃止した。		

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	地区市民ホールの安全な維持管理とともに、より多くの利用者に施設貸出しを行うことにより、地域コミュニティ活動の促進を図る。	
予算の執行方法	地区市民ホールにかかる経費を老人福祉館運営費と一体で執行する。	
事業の成果	多くの市民に活動の場を提供することで、コミュニティ活動の活性化を図った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	<b>17,391</b>	<b>18,840</b>	<b>18,433</b>	<b>18,768</b>	<b>18,355</b>	
事業にかかる実コスト	<b>36,493</b>	<b>35,390</b>	<b>34,822</b>	<b>34,760</b>	<b>33,567</b>	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0	0	0	0	
	都支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特定財源	2,620	2,790	2,291	1,498	1,289
	一般財源	14,771	16,050	16,142	17,270	17,066
	間接経費					
職員人件費	12,175	9,253	8,813	8,401	8,582	
《従事人員数》	1.30	1.00	1.00	1.00	1.00	
その他の人件費	6,927	7,297	7,576	7,591	6,630	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	年間利用団体数	目標	1,800団体	1,800団体	1,800団体
		結果	1,585団体	1,404団体	—
成果指標 (アウトカム)	地区市民ホール年間利用者数	目標	46,000人	46,000人	46,000人
		結果	39,380人	34,178人	—

特記事項	事業コストは、児童館、学童クラブ、図書館にかかる部分を面積按分し算出している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月は貸室の利用を休止した。
------	---

◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し	方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">量的</td> <td style="width: 50%;">財一 源般</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">イ</td> </tr> </table>			量的	財一 源般	B
量的	財一 源般					
B	B					
B	イ					

## 〈複合施設等管理経費〉

### ◇執行状況及び成果等

#### 老人福祉館（4館）

・連光寺老人福祉館 ・諏訪老人福祉館 ・豊ヶ丘老人福祉館 ・東寺方老人福祉館

#### 地区市民ホール（3館）

・諏訪地区市民ホール ・豊ヶ丘地区市民ホール ・東寺方地区市民ホール

#### 老人福祉館・地区市民ホールの主な経費

(単位：円)

項目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
光熱水費		19,819,099	17,400,126	17,614,728	19,261,000	19,356,978
修繕料		2,361,916	3,691,278	4,808,980	2,729,986	2,737,212
保守点検委託料		3,929,206	4,766,314	4,788,454	4,791,802	4,843,214
業務委託料		10,533,356	10,377,864	11,289,011	10,501,361	12,328,219
工事請負費		1,369,440	6,274,800	847,800	2,951,942	1,435,868
その他		295,823	297,835	368,963	374,581	357,423
合計額		38,308,840	42,808,217	39,717,936	40,610,672	41,058,914

## 〈老人福祉館・地区市民ホール運営費〉

### ◇執行状況及び成果等

#### 1 老人福祉館

施設名	項目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
連光寺	開館日数		293	293	294	292	275
	利用者数		3,646	3,185	2,601	2,545	2,343
	一日平均利用者数		12	11	9	9	9
	風呂利用者数		692	709	683	673	635
豊ヶ丘	開館日数		294	293	287	291	274
	利用者数		7,533	7,250	6,180	5,774	5,046
	一日平均利用者数		26	25	22	20	18
	風呂利用者数		3,580	3,299	3,025	2,802	2,364
諏訪	開館日数		294	293	293	292	274
	利用者数		14,605	14,730	14,332	13,985	11,995
	一日平均利用者数		50	50	49	48	44
	風呂利用者数		8,316	7,893	7,971	8,451	7,636
東寺方	開館日数		294	293	293	290	271
	利用者数		15,662	14,442	13,170	12,961	11,829
	一日平均利用者数		53	49	45	45	44
	風呂利用者数		7,426	7,063	5,764	5,951	5,323
合計	開館日数		1,175	1,172	1,167	1,165	1,094
	利用者数		41,446	39,607	36,283	35,265	31,213
	一日平均利用者数		35	34	31	30	29
	風呂利用者数		20,014	18,964	17,443	17,877	15,958

#### 2 地区市民ホール

施設名	項目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
豊ヶ丘	開館日数		347	345	341	346	317
	利用コマ数		1003	982	1,013	1,061	1,004
	利用者数		12,056	11,816	12,026	12,492	11,272
	一日平均利用者数		35	34	35	36	36
諏訪	開館日数		348	347	347	347	319
	利用コマ数		2,468	2,263	2,100	2,131	1,872
	利用者数		21,215	19,543	18,980	18,788	15,829
	一日平均利用者数		61	56	55	54	49
東寺方	開館日数		346	342	343	344	312
	利用コマ数		946	871	818	829	708
	利用者数		13,563	10,042	7,617	8,100	7,077
	一日平均利用者数		39	29	22	24	38
合計	開館日数		1,041	1,034	1,031	1,037	948
	利用コマ数		4,417	4,116	3,931	4,021	3,584
	利用者数		46,834	41,401	38,623	39,380	34,178
	一日平均利用者数		45	40	38	38	47

### 3 休日夜間開放事業

年度	項目	施設数	開館日数	利用コマ数	利用者数
平成27年度		4	1,388	767	6,871
平成28年度		4	1,383	626	4,471
平成29年度		4	1,380	712	4,573
平成30年度		4	1,380	576	4,078
令和元年度		4	1,264	487	2,800

### 4 老人福祉館等にかかる主な経費

(単位：円)

項目	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消耗品・印刷製本費・修繕料		986,630	1,191,704	1,048,544	1,474,268	1,467,095
機器保守点検・清掃・会場設営委託料		15,629,760	16,006,140	16,345,800	16,884,720	17,650,286
複写機・自動車借上料		459,722	444,600	461,809	347,923	349,206
備品購入費		43,000	572,400	842,400	702,000	-
その他		198,558	242,712	242,262	302,656	324,213
合計額		17,317,670	18,457,556	18,940,815	19,711,567	19,790,800